

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

東中川小	学校	児童数	51
------	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.70	20.07	28.50	37.18	48.36	9.25	159.60	20.04	49.67
大阪市	15.97	18.72	32.66	38.27	45.10	9.50	147.92	20.35	51.13
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
女子	14.43	16.78	32.42	37.87	38.83	9.43	151.21	13.71	53.86
大阪市	15.88	17.85	37.44	36.49	34.75	9.74	140.20	12.69	52.67
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28

結果の概要

- 男女ともに8項目のうち4項目で全国平均を上回る結果となった。また、体力合計点では男子は大阪市・全国平均を下回ったが、女子は大阪市平均を上回った。
- 男女ともに「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」において大阪市・全国平均を上回ったが、「握力」「長座体前屈」では男女ともに下回った。
- 質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」では、男女ともに大阪市・全国平均を上回っている。特に男子では肯定的な回答が100%であった。
- 1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合については、男子は25.9%と高く、全国・大阪市平均を大きく上回る結果となった。女子は17.4%で、全国・大阪市平均とほぼ同じだが、0分と回答する児童が17.4%と高かった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

- 各学級にボール、大縄を配布し、休み時間に自由に使えるようにしている。また、竹馬と一輪車を使いややすい場所に設置しているため、使用率が高い。
- 「元気もりもり習慣」を設定し、かけ足週間や縄跳び週間を設けている。そのため、休み時間には縄跳びに取り組んでいる児童が多く、学級でのみんな遊びでもおにごっこやりレー、大縄などをしている姿が多くみられる。
- また、ゲストティーチャーの招聘などを通して、運動の楽しさをや友だちと協力したり励ましあったりすることの大切さを継続して実感させる活動を行っている。
- 「シナプロロジー」を活用し、低・中学年からの計画的な体力向上に努めている。
- ・体育の時間をきっかけとして、体を動かすことの楽しさを実感できるような動機付け、工夫が必要である。委員会活動を利用しての運動の紹介や啓発、家庭や地域との協力も必要である。

